本を選ぶ

高校図書館版

NO.13　1992年(平成4年)5月10日

●発行／ライブラリー・アド・サービス

本社 〒162 東京都新宿区下宮比町2-28 飯田橋ハイタウン517 TEL03-3235-6168

ぶっく・えんど

身を守る本

私の仕事は社会保険労務士。業務の一環として新入社員の社会保険手続き代行をしているが、職を転々とする若者に出会う機会がけっこうある。彼らに共通しているのは、第一に履歴書の内容が歯抜けだらけのクシみたいだという事。「保険の手続き上必要だから、この空白の間どこにいたのかだけでも教えてくれない？　プライバシーは守るから」と言っても、たいてい黙っている。仕方がないので役所で名前と生年月日を告げ、職歴のリストを出してもらうのだが、間違いないか本人に確認すると、翌日から出社しなくなるケースも多い。せっかく就職の決まった会社なのに…。

大体の想像はつく。学校で授業を聞いているより、仕事をみつけてお金を稼ぐ方がなんぼかマシという程度の甘い考えで、彼らは社会にとびだしていくのだ。しかし待ち受ける相手はろくなモンじゃない。「高校中退だろうが髪の毛がピンクだろうが、働いてくれるんならなんでもいい」などと言ってくれるのは、悪魔だって裸足で逃げだす劣悪事業所。とんでもない労働条件に劣悪環境、食っていけないほどの低賃金。長続きしなくても無理はない。だけど彼らは深く傷つく。学校でも落ちこぼれ、あるいは自ら選んで社会に出たのに、そこで「役立たずと言われる自分」に直面する。「仕事がつらくて逃げだす根性なしの自分」に出会う。かれらの履歴書の空白には、ズタズタになったプライドが綴ってあるのだ。それを知られた以上ここにはいられないというくらい、傷口からはいつまでも血がしたたっている。

第二に、こうした若者は自分の身を守って戦うすべを知らないということ。ある若い女の子が妊娠した。毎日夜十時頃まで残業のある職場で、体がキツイので少し考えてくれないかと申し入れた。とたんに社長のカミナリが落ちたという。「はしたない。そんなに嬉しそうにふれ回るもんじゃない。黙って頑張って働いて、ハラがふくれ出してからそっとうちあけるもんだ」。少しでも労働法をかじった事がある者ならひっくり返りそうな発言だが、彼女は「そんなものかな」と思いつつ、それでも体がしんどいので半ば逃げだすように「自己都合退職」したという。労働基準法のイロハも知らず人を雇っているこの社長も問題だが、もし彼女が女子の保護規定を知っていたならと、気の毒でならない。こんな例は掃いて捨てるほどある。

学校というケージから出て行く若者の多くは、こんな無茶苦茶な荒波にもまれるのだ。在学しているうちに、せめて自分の国にはどういう法律があるのか、自分にはどんな義務や権利があって、それほどの法律で保障されているのかを最低限知っておいて欲しい。ほかならぬ自分の身を守るために。実際、労働基準法くらいは義務教育で教えておくのが親心だと思うのだが、今の学校教育ではそれが期待できない以上、フォローアップ機関として学校図書館にもっと頑張って欲しい。例えばサラリーマン向けの簡便なハンドブックでもいい、高校生にもっと法規集を、というのが私からのアドバイスである。

（はまだ　あけみ：社会保険労務士）

こんばんは！ 図書館へようこそ
—定時制高校の図書館—

米田知子

5時半～10時まで

たくさんの学生や勤め人が家路につく頃、定時制高校の一日は始まります。5時半から9時頃まで、給食をはさんで、4時限の授業があり、10時近くまでが放課後になります。（北高校では、91年度から3年間で卒業する三年制課程が始まり、こちらはこの前にもう1時限の授業があります。）

北高校の図書館は、教室に近く、生徒の来やすい所にあることもあって、生徒は割合頻繁に出入りします。短い休み時間にも新聞や雑誌を読みに来る生徒もいますが、むしろ待ち合わせの場所や、グループ（学年を越えたグループも）でくつろぐ場所として来る生徒の方が多いようです。また教室に居場所がなくて授業時間以外は図書館をすみかとしているような生徒もいます。

去年の一学期は、貸出はとても少なく、図書館も単なる場所として利用されているような感じでした。昼間働いている子が多く、本を読む時間もないだろうと思いますが、それでも、本にまったく関心が無いのでもなく、自分の興味を引く本は結構めざとく見つけていました。定時制の子は本を読まないと言われますが、本に接する機会や余裕が少なかった（そして今も少ない）のにすぎないような気がします。

二学期以後、レポートの課題があったこと、またコバルト文庫など今の高校生の好きな本がふえたこともあって、貸し出しやレファレンスもふえてきました。

ある日の図書館風景

四年生が10人くらい、最後の卒業試験後、締切の迫った国語の課題論文、化学のレポートをやりに来る。男子生徒が、論文の資料を探しているようすなので、「何を探しているの」と聞くと、「親子とか、世代とかそういったことを書いた本が見たいのだけど」という返事。『自立にむかう旅』（乾彰夫著 大月書店）を紹介する。

9時に授業が終わると、三年生が団体で、「新聞見せて、科学欄ってどれ？」とにぎやかに入ってくる。理科のレポートで、新聞の科学記事を読んで、それに出ている言葉の意味を調べるのだという。新聞の科学欄を見せて、科学辞典も出してくる。新聞が行き渡らない子には、縮刷版を渡して、索引の説明をする。

三年生の女の子が「ねえ、小論文の書き方とか英検の本ってある？」「あるよ、英検受けるの？」「うん、こんな資格もとっといたほうがいいって言われたから」小論文の書き方、英検の教本や問題集を見せているうちに「保育の本ある？わたし保母さんになりたいの」。たまに図書館にくると、急にいろんな本のことを思い出すらしい。『なるにはブックス』の「保母になるには」はあいにく貸出中、いっしょに書架に行って保育の本を探すと、赤ちゃんの写真があって彼女は「かわいい」と大喜びで、しばらく見ながら、「わたし、保母さんの資格取るために短大行きたいから、国語の先生に小論文をみてもらっているの。本も読まなくちゃと思っているんだけど、あまり好きじゃなくて。でも『二十四の瞳』は良かった」と話してくれる。

そうこうしているうちに、一年生の女の子がふたり「本借りに来たのに」と言っている声が聞える。（北高校の図書館は、細長くて、奥の書架の方にいると、カウンターのようすがよくわからない。）「あ、ごめんね。何借りるの？」といそいでカウンターに戻って、貸出手続きをする。

そのあいだには、先ほどの三年生は『ウォーリーをさがせ』を見始めたりしている。（レポートは今日中に提出しなくてはいけないというのに、まったく！）「ウォーリーはあとにして、早くやらないと間に合わないよ」なんて叫んでしまう。

カウンターと書架の間を行き来していると、常連の男子グループが「今度鉄道写真の本入れてよ」と話しかけてくる。「鉄道の写真でもおもにどんなの？ ＪＲとか私鉄とか」と聞くと「なんでもいいけど、中央線が好きなんだ」「それじゃ、今度入れるから、待っててね」。

英語の先生が「授業で使いたいんだけれど、和

英辞典は何冊ありますか」と入ってくる。調べると10冊位は集められそう。「じゃ、今度授業の時借りに来ますから」とおっしゃって、「生徒に辞書を使わせるのはたいへんですね」としばらく雑談する。（私も生徒に漢字を聞かれた時など、「図書館なんだから自分で辞書で調べようね」と言っては、面倒がられている）。

９時45分、日直の先生の「10時までに帰宅しましょう」という放送があるが、せっぱ詰まった四年生は、ぎりぎり10時までねばる。「遅くなってごめんね」と私の帰宅時間まで心配してくれるのは、さすが働きながら高校に通い続けた四年生なればこそ。

これは、特別忙しかった一日です。ふだんは、何人かの生徒の話相手になったり、ひっそりとやって来てこっそりすみっこに行く生徒を目で追いながら話しかけるべきかどうか迷ったり、さもなければ「図書館の中で追いかけっこ（!）しちゃダメ」などと怒鳴ったりして一日が過ぎることも、多いのです。

生徒とのふれあい

わたし自身の高校時代は、なるべく職員室などには近づかず、教職員にはこちらから話しかけることなどなかったように記憶しているので、定時制の生徒たちが、とても人なつこく、自分のこと、家族のこと、仕事のことなど、いろいろ話してくれるのには、最初びっくりもし、戸惑いました。定時制の生徒には、家庭が複雑だったり、これまでの学校生活で傷ついた経験のある生徒が多く、胸が痛むことも多いです。アドバイスというほどのこともできないけれど、せめて生徒の声はしっかり聞いてあげたいと思っています。

逆に私が落ち込んだりした時に（一人職種で孤独な？司書は落込むことが結構多い）、生徒と話をしていて、心が晴れて助けられたことも何度もありました。

「図書館には、おもしろい本がない」という生徒には、「そんなことないよ。おもしろい本もたくさんあるよ」と（年齢が離れるにつれてますます彼らの興味がつかみにくくなるのを自覚しているのですが、表面はあくまで強気で）、その生徒が喜びそうな本をあれこれ探して、書架から出しますが、これがなかなかの難問。オールズバーグの絵本『名前のない人』、橋本譲二の写真集『17歳の地図』、安野光雅の『旅の絵本』、よみものでは、吉本ばなな、氷室冴子の作品や、二谷友里恵の『愛される理由』、赤川次郎の『ふたり』などはわりあい好評でした。

ある日女の子が「ねえ、出産ってこんなにたいへんなの？」と『生まれる』（レナート・ニコルソン講談社）という本を見せに来ました。胎児の成長から出産までのリアルな記録写真で、特に出産のすさまじさがショックだったようです。私には出産の経験がないので、体験を話すことはできなかったのですが、『さらば、悲しみの性』（高文研）の出産の場面の写真がとても温かみがあって心に残っていたので、紹介し、その内容も話すとさっそく借りて行きました。一日で読んできて、次の日には、その友達が借りて行きました。このように時にはタイミング良く本の紹介ができることもあるので、生徒との日々のやりとりはとても貴重だと思っています。

生徒との日々のやりとりは貴重です。実際には、一人一人の性格も違い、ふだんのなにげない会話さえ、私には難しいのですが。

一～二年生では、少数の本好きの子以外は、図書館で本を借りたり、調べものをしたりすることを、何か特別のことのように思ってるみたいです。学年がすすむにつれて、課題学習のために「めんどくせえなァ」とか言いながら資料を探しにきたり、「コンサートのチケットが取れたから」と座席を調べにきたりということも多くなります。日常的に図書館を利用するようになるまでには、時間がかかるのだと思います。多くの定時制の生徒にとって、高校が最後の学校になるので、調べもののための図書館利用の習慣も身につけてほしい、そして卒業後も、何か調べたい時には図書館を思いだしてくれればと思っています。

さまざまな苦労をかかえた子が多い定時制高校ですが、一人でも多くの生徒が読んでよかったと思える本に出会い、読書の楽しさを知ってほしいと思います。そのためには、図書館が、生徒にとって入りやすく、くつろげる場所でなければと思いながら、「こんばんは」と生徒をむかえる毎日です。

（よねだ ともこ：東京都立北高等学校定時制司書）

はたちになったら国立国会図書館に●

豊田美里

姉とも兄ともたのんだ司書

管理棟と生徒棟の間の昇降口の上にあった、柏中央高校の図書室は、窓からの景色もよく、陽ざし抜群という所にあり、本にとってはあまり良くない環境だが、３年間図書委員であった私には、大変いごこちのよい場所であった。図書委員というと、暗いイメージを持つ人が多いが、私の学校は、明朗快活で、個性的な人が多く、図書室で会うのが大変楽しみであった。特に、図書館司書であるＡ先生は、女性でありながら170cmをこえる身長で、150cmしかない私にはいろいろな意味で雲の上の存在であり図書委員の姉（兄?）のように私たちを見守っていてくれた。

高校時代、仲間によく、「図書委員って、本を貸したりするだけで楽でしょう。」と言われたが、とんでもない。実際は、調査統計、広報活動、蔵書点検等とても忙しく、また役員をしていたので他校との連絡協議会や、予算会議など、これが図書委員の仕事か！と思うようなものもあった。

新刊選定は私が読みたい本から

しかし、大変な仕事にはそれなりの見返りもあった。図書室には、生徒達が入れて欲しい本などをリクエストするコーナーがあり、これは月に一度、図書委員会役員により独断と偏見で選び抜き、購入するのである。私などは、ＳＦや推理小説が好きだったので、自分の読みたい本があると、他の本を次の月にまわしたりしたものだった。

急に話は変るが、図書室を利用する人というのは限られていると思う。私の母校の図書室は昼休みと放課後に開館していたが、見る顔はほとんど同じで、他の生徒は、試験前などに、古典の原作を借りにきたり、授業で必要な資料を集めにくるぐらいであった。そこで、映画の原作や、一年間で特に人気の高かった作者の本を集めたブックフェアーをやったり、積極的に新刊案内を発行したりして、皆の関心を図書室に魅きつけようとした。この努力は、あまり実らなかったが、このように、変ったアイディアを出して後輩もがんばって欲しいものである。

振り返ってみると、私にとっての図書委員は、責任感や、実行力をためされるものであった。すべて、成し遂げたわけではないが、この三年間の経験は、すばらしい充実感を私に与えてくれた。

私は卒業のときに、「千葉県優良図書委員」というすばらしい賞をいただいた。まさか、まさかの大感動である。これは、中学のときから六年間図書委員を務めたことの大切な記念となった。

今年の四月から、ほとんど本と縁のない薬学部への入学が決っている。しかし、本を読むことが、生活の一部になっている私は、今から、大学の近くにある公共図書館へ行くことを楽しみにしている。

二十才の誕生日には、国立国会図書館に入ることを、夢見ている。どんな大学へ行っても、どんな仕事についても、どんな人でも、本を読むことは、新しい発見や、出会いを与えてくれるだろう。

（とよだ みさと：千葉県立柏中央高校OG/大学一年生）

新刊選びは一大イベント●

菊池奈保子 & 鎌田佳子

図書部員になって

私達が図書部員になったのは、正直に言ってしまえば楽そうだったからです。他の運動部や検定のある部などに比べて、図書部ならそんなに大変な事はないんじゃないかなぁ…などと甘い事を考えてこの部に入部しました。

いざ、自分が実際に図書部員になって思った事は、この部はそんなに手抜きのできる部ではないなぁ、という事です。こうして二年間も図書部に在籍した今となっては、初めの頃の自分の甘さがおかしいくらいです。手抜きもできないし見た目も地味ですが、私達は図書部員になって本当に充実した日々を過ごしています。

我が旭川商業図書部はわりとマメに活動を行なっています。まず毎日の昼と放課後はカウンターに立ちます。一応曜日ごとに当番の人間が決っているのですが、当番以外の部員も、準部員のよう

なカウンターの常連の人達も、手があいていれば誰でも皆手伝います。時々、部員内で盛り上がりすぎて本の返却にきてる人を忘れてしまう時もありますが。

また、定期的にライブラリー・ニュースというものを発行しています。これは図書室が身近な人にも、またそうでない人にも図書室に興味をもってもらおうという意図のもと作られているもので、全校の生徒に配布されます。成果の程は、まあまあといったところでしょう。

図書部員になってよかった

部員の一番の楽しみであり、しみじみと部員になって良かった！と誰もが思うのは新刊購入でしょうか。この新刊購入というのは、新しく図書室に入れる本を、部員全員で買いに行くという、部員にとっての一大イベントで、自分の読みたかった本、皆に読んでもらいたい本というのをそれぞれが好きなだけ選ぶ事が出来るのです。そして、その本が図書室に並びます。今現在うちの学校で人気のある本、というのは大抵この新刊購入によって生徒が選んだ本ではないでしょうか。

こうして書いていると、私たちは仕事ばかりしているようですが、私たちの図書部はそれだけではありません。クラスや学年を越えて私たちはとても仲が良いです。これはよそのどんな学校と比べてもヒケをとらないと思います。図書室はいつでも部員みんなの安息の場です。そしていろいろな面白い企画などもどんどん生れます。部員内にしか通じない流行語が生れたり、妙な遊びが流行ったり…。図書イコール本ばかり読んでて暗いなどと決めつけるのは大きな間違いです。皆それぞれに本も読むし、よく喋るし、楽しい人達ばかりです。

私達は約二年間この図書部員の一員となって頑張ってきたわけですが、後悔した事は全くないです。それどころか、こんなに楽しくてやりがいのある部に入れて、本当に心から良かったと思います。来年私達が三年生になったら、また次の新しい部員が入ってきますが、新しく部員になる人も、私達と同じように楽しくてやりがいのある、本当にいい部だった、と言ってくれるような部にして欲しいと思います。

(きくちなおこ & かまたけいこ:旭川商業高校図書委員)

もしもしアンケート・今年のオリエンテーションは？

① みんなで楽しむ

神奈川県立菅高校・田村　修

＊今年から禁食も解き、図書館は楽しい場所で友達と楽しめる場所だということを訴えた。B'Zや小田和正のＢＧＭをかけて、生徒を迎えた。

＊自分が司書だということを強調する。受けを狙って＜ひしょ＞でもないし、＜ししょう＞でもなく＜ししょ＞であること、だからといって自分の名前は＜ししょおさむ＞ではなく＜たむらおさむ＞だというようなことを話す。



＊皆で楽しめる本として『ウォーリーをさがせ』のシリーズから始めて、『おしゃべり用心理ゲーム』『ベストオブ丼』『恐怖の心霊写真集』などをまず紹介する。

＊雑誌やコミックの紹介をする。雑誌は『プチセブン』『PATIPATI』『ビッグコミックスピリッツ』『ヤングジャンプ』などを紹介するが、これらは生徒からの寄付に頼っていることも話す。コミックは今年は『ＹＡＷＡＲＡ』『Ｍａｓｔｅｒキートン』『ぼくの地球を守って』を紹介した。

＊ここまできてノリの良いクラスは『今「食」が危ない』から『Santa Fe』に進み、ノリの悪いクラスは真っ直ぐ『Santa Fe』にいく。

＊リクエストできることと貸出しの仕方、本は元の棚に戻してほしいことなどで終わる。

②「図書室利用のしおり」にそって

東京都立赤坂高等学校・市川澄子

＊１クラス毎に図書館で行なう。
＊貸出しや返却など手続面は事細かに説明せず、読書への誘いを導入に使って、分類・目録を強調して説明した。分類は本の住所、居場所を決めて、分類番号によって本が並び、図書館のしくみ、構成も決まってゆくこと。ＮＤＣの綱目表のところでは、知識の大系表としても表を見られる点などを表現してみた。そして調べたい事、探したいものにどういきつくか、そのための方法の一つとして目録カードの紹介をし、参考図書類、公共図書館などとの連携についてもここで紹介をしていった。
＊禁帯出の本は『スポーツ辞典』を使って、どんな人が載っているかを紹介した。
＊雑誌は『キネマ旬報』『鉄道ファン』『世界』『暮らしの手帖』の最新号を使った。
＊単行本は『くますけと一緒に』『反三国誌』『ゲド戦記』などを使った。内容を少し長めに紹介していったが、本の内容を紹介すると、生徒が顔を上げ、興味深く聞いていることがよくわかった。

③ターゲットは本を読まない生徒

福岡県立筑上北高校・久保澄子

＊貸出し手続はざっと説明した程度。
＊本を読まない生徒の方が多いので、図書館には面白い絵本もあるよというよびかけから始める。今年は、最初に『からすたろう』を全部読んでから、良く読まれている本の紹介をした。シドニー・シェルダン、不破純、木根尚登、さくらももこなどの作品を数冊ずつ紹介した。
＊手塚治虫の作品がたくさんあることを紹介。
＊雑誌は『セブンティーン』を紹介。
＊学校の規模も小さく、年間の図書費も数十万円しかないので、すぐ近くにある市立図書館の利用をすすめた。

④プライバシーは守るから

岐阜県立中津商業高校・磯村陽子

＊図書係の先生と時間を半分に分ける。
＊図書係の先生は、読書の意義やご自分の読書の経験などを話す。学校というところは、規則の多いところだけど、図書館は違うんだよということを話してもらう。
図書の先生が、学校では目の前の利益を追うことが多いけれども（商業高校なので、検定などがいろいろある）、何のためということではない行為もあるという内容で『モチモチの木』を紹介した。
＊司書は本の借り方を中心にし、中学までの図書館は堅苦しかったと想定して、本屋にはあるけど、図書館にはなさそうな、くだけた感じの新しく買った本を中心に紹介する。
＊例えば『間違いだらけのクルマ選び』『おとくな猿はいかがですか』『じょうぶな頭とかしこい体になるために』など。また先生の話を受けて『花さき山』を見返りのない善意ということで読んだ。
＊性の本を例にとって、プライバシーが守られていることを強調する。貸出し方式も公共図書館に近く、一切記録が残らないようになっていることなどを話す。今年から個人カードもなくし、プライバシーを守っている自負はある。
＊今年使ったのは『ムンメル』『きみたちは性をどう考えるか』。
＊「さあ、借りる練習をしましょう」といって誘うと大体の生徒が、本を借りる。
＊司書をアッピールする。司書は中学にはいないんだよ、高校もどこの高校でも司書がいるんじゃないんだよ。パートの人がいる方が多いんだよ。私のように正規の司書がいるのは市内の３校だけで、君たちはラッキーなんだよという。

●取材の途中で

オリエンテーションを司書だけでする学校、図書主任だけの学校、司書・先生・図書委員一緒での学校。同じことでも、貸出し手続と言っている人、本の借り方といっている人。いろいろあるわ。

⑤六年制の中高一貫教育なれば

自由の森学園・大江輝行

＊中高6年間の一貫教育をしているので、他とは少し違うと思う。
＊中学校でのオリエーンテーションは図書館は楽しい所だということ、貸出し手続の話、司書が二人いるということ、どんな資料を借りても良いことなど話す。高校では二度行なう。
＊一度目：学年全体で行なう。大きなテーマを出して対応するチャンス。図書館の場所を共有しながら一緒に作りだしていこうというよびかけの気持で意外な資料を周辺から出してくる。
例えば、ミニコミ誌、食堂メニュー、地形図、ゴルフ場の裁判とレポートなどを紹介する。
自分達で調べる力がついているので、①学校の外に資料を追って探す手立てを話す。飯能市立図書館、駿河大学図書館、国立国会図書館など。
②共同で作りだしていくというテーマで、授業と学校図書館のつながりなどを話す。
＊二度目：クラス毎に。今年は子どもの権利条約の中の意見表明権、プライバシー権、表現の自由の権利などにふれながら、図書館を利用するだけでなく、自分のものにしていくというテーマで訴えた。
＊図書館は資料のある所ではなく、司書がいて初めて機能を発揮する施設であることを強調する。

⑥ブックリストを中心に

長野県立A農業高校・境のり子

＊あらかじめ一年生の担任に挙げててもらった推薦図書をリストにして手渡す。
＊図書主任と図書委員と司書で1時限を分ける。図書主任は、読書について、図書委員は貸出手続について、司書は本の紹介を通じて、図書館に気楽にきてほしいとの話をする。
＊今年のリストには『君原健二のマラソン』『どくとるマンボウ青春記』『太郎物語』『星の王子さま』『わたしの出会った子どもたち』などの他に理科担当の先生お薦めの＜ブルーバックス＞（講談社）などいろんな分野の本があった。
＊農業高校なので、『コメ講座』『かがやけ、野のいのち』『木を植えた男』『木の声がきこえる』などを紹介した。
＊生活科には雑誌の『食べもの文化』や『星の王子さま』の特集を組んでいる『Moe』など。

●取材を終えて

オリエンテーションは、一年生だけを対象にして行なわれているようです。未だ学校の様子もしっかり判っていない時に、一回だけというのはちょっぴり残念。学年毎に行なえば、卒業までに図書館を我が物にする若者が増えるでしょうに。

DMかたろぐ

図書館のみなさんへ

岩波書店では、図書館のみなさんのご意見・ご要望を直接にお聞きしたいと考えております。

03-3239-9813
FAX 03-3239-9618
岩波書店 営業部図書館係・加藤
〒101 東京都千代田区一ツ橋2-5-5

桐朋教育研究所編
中高生徒作文集
桐の華
桐朋女子中学校三年生と高校二年生は全員夏休みに作文を書く。自分と自分の周囲を見つめ考えたことを文章にする。それが二十五年続いた。その中から選ばれた珠玉の作品群。
私学の名物校長 桐朋学園の 生江義男先生
けっぱり先生の 子どもたちが 青春を楽しんで 書きました
全二集 定価各集 一、〇〇〇円(税込) 送料二六〇円
全二集函入セット価格 三、〇〇〇円(税込) 送料三二〇円
〒102 東京都千代田区平河町二―六―三
☎ 03(3261)7000
創造書房

現代を読み解き、未来を予見する
トラヴェルス双書
全6巻完結発売中●各2900円(税別)

1化粧2デザイン3声4恐怖5ニッポン6世紀末の政治／編集＝ジャン・ボードリヤール他／監修＝今村仁司／フランスのポンピドゥー・センターから刊行されている脱領域的な思想図書。第一線で活躍する編者達はそれぞれの専門領域にとらわれない大胆な編集を行なっている。貴重な写真ページも各巻のテーマを浮き彫りにし、現代を見事に捉えている。

リブロポート
〒171 東京都豊島区南池袋2-23-2 電話03-3983-6191

▶全50巻で完結！シリーズ既刊22巻！
▶定期配本予約受付中！

江戸の暮らしが甦る！
【見る】【聴く】【読む】▼マスコミで話題沸騰！
大江戸万華鏡

最新刊／＊江戸時代人づくり風土記 13 48
●監修＝牧野昇・会田雄次・大石慎三郎 ●編集＝加藤秀俊／他
読んで、見て、江戸を理解する。加えて、江戸の歌、音、声をぎっしり集めたCDで江戸を感覚体験する。楽しい初めての江戸ブック。
●B5判・箱入・750頁内カラー口絵図版128頁・難字にルビ・脚注付
●74分CD大江戸四季の音巡り付



◉CD付＊10,000円

農文協 ●図書目録進呈 ［税込定価］
〒107 東京都港区赤坂7-6-1 ☎03(3585)1141

THE SUPER SWIMMERS 1992
選手名鑑&全記録集

スイミング・マガジン編集部：編
東島新次：監修
A5変型判/定価3,500円(税込)

水泳界が待ち望んでいた完全データブックがついに完成！過去のスーパースイマーたちの足跡がこの一冊に凝縮されています。もっと水泳を知りたいあなた、そして自らが明日のスーパースイマーを目指すあなたに必携の一冊です。

Ⅰチャンピオン・スイマーズ（日本人、外国人編）
オリンピック、世界選手権のメダリスト、日本選手権の優勝者、現在の日本記録保持者のプロフィールを完全掲載
Ⅱ記録とデータ

体育・スポーツ総合出版
株式会社ベースボール・マガジン社
〒101東京都千代田区三崎町3-10-10☎03(3238)0181

画集 日本の野生動物
田中豊美
全3巻
1巻 森の鼓動
2巻 けはい
3巻 あしおと

野生のドラマ、生命の躍動が鮮烈に伝わる!!



セット定価30,000円(税込)
B4横変型判(257×348ミリ)・上製・各120頁・布クロス装



7月刊行 ※予約受付中！
社会科学総合辞典
●社会科学辞典編集委員会編
定価10000円・特別定価9500円(12月31日まで)
B5判上製・カバー装函入

新日本出版社 〒151
東京都渋谷区千駄ケ谷4-25-6 ☎03(423)8402(営)

限定1480部



黒潮が育てた漁民芸術の粋一〇〇余種
万祝（まいわい）
監修——仁科又亮
写真——長塚誠志

●解説
仁科又亮／小島孝夫
坂根 進／菅根幸裕
矢萩昭二
●各種文様見本帳・型紙他
菊4判・上製・函入・総二〇四頁
●定価二八、八四〇円(税込)

現存する明治大正から昭和初期の万祝百余点に見る漁民芸術の粋。大海に挑む漁師の祈りと大漁祝いを染めぬいた絢爛豪華な吉祥デザイン。海洋民族日本が世界に誇る斬新にして豪快華麗な万祝衿纏の一大集成。

日本の意匠事典
岩崎治子著 定価一〇、三〇〇円
B5判 図版七五〇点 総三四頁
日本の染織・漆工・金工・陶磁器など各分野の伝統意匠を網羅（内容見本呈）

東京都文京区本駒込三—二九—六
振替東京六—九〇六四九電03三八四二—二三
岩崎美術社

大モンゴル
全4巻
NHK取材班編
NHKスペシャル出版化!!

第1回配本＝絶賛発売中!!
①蒼き狼 チンギス・ハーン
総論執筆●堺屋太一／本田實信

［刊行予定］
②幻の王 プレスター・ジョン 6月
世界征服への道
●陳舜臣／D・モーガン
③大いなる都 巨大国家の遺産 8月
●田中英道／杉山正明
④(写真集)大モンゴル 7月
——草原の民、自由の民

体裁●A4変形判・160ページ オールカラー図版・約200点・カバー装
定価●各巻2,800円(本体2,718円)

角川書店

ミラン・クンデラの最高傑作！

冗談

主人公の冗談「トロツキー万歳」の語が生んだ波紋を追って織り成される錯雑した世界．男と女の悲喜劇を主奏に，チェコの歴史を内面から描く回想＝長編小説．
『存在の耐えられない軽さ』『不滅』……．ジョイス，カフカをつぐ20世紀最後の大作家ミラン・クンデラ．激動の戦後チェコが生んだ巨星の代表作を，ついに刊行！

四六判・388頁　定価2678円〔1992年6月20日発売〕

東京文京本郷3　みすず書房　☎03(3814)0131

考えながら読む **数学教本**（上）　彌永昌吉編著　定価2781円

物理学の誕生　杉山滋郎訳　定価2369円

宇宙とその起源　祖父江義明訳　定価4017円

環境変動と地球砂漠化　門村　浩ほか3氏著　定価4944円

図説からだの事典　中野昭一・重田定義編　定価29870円

総合図書目録'92あります。ご請求下さい。

＊定価は消費税込みです。

朝倉書店　東京都新宿区新小川町6-29　〒162　☎03－3260－0141

KeeP

THE KENKYUSHA ENCYCLOPEDIA OF ENGLISH WITH PHOTOGRAPHS

キープ

写真で見る英語百科

国際化の時代を迎え、英語学習も言葉の背景にある英米の文化を理解することが求められています。このような要請に応え写真・挿絵5600点を収録したカラー版英語百科事典。

B5変型判／総960頁
定価18,540円(税込)

予約申込受付中
5月13日新発売

研究社　〒102 東京都千代田区富士見2－11－3　☎03(3288)7777

恐竜の生活と生態をリアルに再現する壮大な叙事詩！

スーパー・イラスト版
DINOSAURS
恐竜
地球環境から見た恐竜の進化と絶滅の物語

S・J・ツェルカス／S・A・ツェルカス
小畠郁生＝監訳

B4判／上製カラーカバー装
248頁(オールカラー)●定価9,800円

スペンサー・コレクション、埼玉県立博物館、東京国立博物館に遺存する太平記絵巻を集大成し、その全容を初めて紹介する画期的刊行！

太平記絵巻

宮次男／佐藤和彦　編

●A四変型／上製布装・美麗貼箱入り／二六〇頁
●定価一五、〇〇〇円

塚越敏＝監修
リルケ全集【全10巻】
定価各9,500～9,800円●揃定価97,700円

古典の事典編集委員会編
古典の事典
【全15巻】　●揃定価89,610円(分売不可)

東京都渋谷区千駄ケ谷2　河出書房新社　電話03-3404-1201〈営業〉

一億人の化学　第Ⅰ期 10巻

日本化学会 編　四六判　上製カバー装

生活・社会の中の身近な話題を新しい知識と広い視野のもとに一般向に解説した教養書。

1 スポーツと化学　定価1600円
2 フレッシュを化学する　定価1400円
3 新ファーブル昆虫記　定価1600円
4 クルマと化学　定価1600円
5 リサイクルのための化学　定価1400円
6 ファッションと化学　定価1600円
7 嫌われ元素は働き者　定価1400円
8 驚くべき生命力の科学　定価1400円
9 ストレスを科学する　定価1600円
10 脳の働きを科学する　定価1600円
＊定価は税込

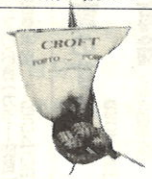
大日本図書　〒104　中央区銀座1－9－10　☎03(3561)8679 FAX03(3563)5596

激動の世界が手にとるようにわかる！

ビジュアルシリーズ **世界再発見** 全10巻

人々の暮らしが見える　歴史、風土、国情が読める

［第1期　4冊刊行］
1.フランス・南ヨーロッパ
2.北アフリカ・アラビア半島
3.南アメリカ
4.イギリス・中央ヨーロッパ



世界170ヶ国の歴史、民族、文化、政治、経済、自然の各分野から最新のデータを満載したビジュアルなシリーズ。人々の生活にスポットを当て「今」の世界を浮き彫りにします。●A4変・オールカラー各176頁／定価各5000円(税込)　※呈内容見本

同朋舎出版　本社 京都市下京区中堂寺鍵田町2　支社 東京都千代田区神田駿河台2-11-1　フリーダイヤル0120-304081

変身動物園

〈カンガルーになった少女〉 E・リンクレイター 神宮輝夫訳 奇想！ 天外！ ふしぎの国の冒険譚。傑作ナンセンス・ファンタジー。カーネギー賞受賞。 3200円

数学放浪記

P・フランクル 数学オリンピック金メダリストが、なぜ日本で大道芸をしているのか？ 自由を求めつづけて世界を巡る天才数学者の型破りな青春。 1900円

晶文社 ＊価格は消費税込みです。
東京都千代田区外神田2-1-12
電話(3255)4501

〔新装版〕
トルーマン回顧録（I・II）

H・S・トルーマン著／堀江芳孝訳
加瀬俊一監修

第2次大戦末期の1945年4月、ルーズベルト大統領の急死により、米国大統領に就任したトルーマン——。世界史の稀にみる激動期に登場した運命の政治家が綴る第一級の資料！

定価6,000円（本体5,825円）

株式会社 恒文社
〒101東京都千代田区三崎町3-10-10☎03(3238)0181

連合出版目録
国語・国文 新刊のご案内

普段書店の店頭にない国語・国文学の優良新刊書、僅少在庫本の目録です。是非ご利用ください。

国文の会
汲古書院 三弥井書店 武蔵野書院 八木書店 桜楓社 笠間書院 風間書房 貴重本刊行会
続群書類従完成会

〈事務局〉〒101千代田区神田小川町3-8駿河台ヤギビル内

博物学の原典……視覚の御馳走。
全自然図譜と進化論の萌芽…「一般と個別の博物誌」ソンニーニ版より
ビュフォンの博物誌

◎監修＝荒俣宏
◎翻訳＝ベカエール直美
◎協力＝今泉忠明ほか
☆B5変型上製／372頁
☆定価＝12360円(税込)
☆カラー図版1123点収録



18世紀フランスの変貌する自然観と科学・文化誌
大博物学者 ビュフォン
◎著者＝ジャック・ロジェ◎翻訳＝ベカエール直美
☆A5判上製／576頁☆定価＝6695円(税込)
☆付録＝図版カラー8頁／索引

工作舎
〒150 東京都渋谷区松濤2-21-3
Tel.03-3465-5251 Fax.03-3465-5254

博物学の評伝……知性の醍醐味。

新刊
ムンクの時代
三木宮彦著 2884円

私の歩んだ道
湯川中間子とともに
中村誠太郎著 1751円

日本産カミキリムシ検索図説
大林延夫・佐藤正孝・小島圭三編
◆日本に生息する全898種（含亜種）を初めて収録
◆成虫・幼虫・蛹（さなぎ）に対応できるわかりやすい図解検索
◆294種のカラー生態写真、世界のカミキリムシ107種の標本写真を掲載
B5判／上製／708頁（カラー52頁）
内容見本呈 18540円

環境教育のすすめ
沼田 眞編 2575円

環境教育論
人間と自然とのかかわり
沼田 眞著 2266円

日本産土壌動物検索図説 青木淳一編 15450円
日本淡水動物プランクトン検索図説
水野寿彦・高橋永治編 15450円

東海大学出版会
〒160 東京都新宿区新宿3-27-4 ☎03(3356)1541 内容見本呈

限りなく広がる知識の世界
創業102年—辞典400点突破！

好評発売中
京ことば辞典



井之口有一・堀井令以知 編
御所ことば(女房ことば)、京職人ことばなど京都語を余すところなく採録し解説した。付録に京のわらべうた、ことわざ等も付す。A5判 3800円

中国故事成語大辞典 和泉・佐藤編 6月発売 予価9800円 予約募集中

東京堂出版 〒101 東京都千代田区神田錦町3-7
☎03(3233)3741 辞典目録進呈